

(様式1)

自己評価表

(愛媛県立西条高等学校)

学校番号(9)

教育方針	人格の完成を目指し、国家及び社会の有為な形成者として、文化の創造と発展に寄与する震源を育成する。	重点目標	新しい時代をたくましく生き、世界に躍進する人材の育成 ～「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透～
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
進路実現	1 自分を信じて、粘り強く前に進む力を育成する	明確な進路目標を持ち、実現に向けて努力する生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	C	生徒の自己評価で、82%の生徒が肯定的な評価となっている。	生徒や保護者に対して提供する進路情報の充実に努め、進路意識の啓発を図る。新大学入試制度に対する情報を発信する。
		国公立大学、関関同立・MARUCH等の有名私立大学合格者数130名以上 A : 130名以上 B : 129~120名 C : 119~110名 D : 109~100名 E : 99名以下	B	国公立大学 102名 明治大学 1名 中央大学 2名 関西大学 5名 関西学院大学 8名 同志社大学 2名 立命館大学 4名 令和4年3月11日現在	1年次から継続的な進路指導を行い、高い目標を設定させる。また、ICTを活用した授業の充実に努め、授業改善によって学力の向上に努める。
		旧帝大・早慶等の難関大学および医学部医学科合格者数15名以上 A : 15名以上 B : 14~12名 C : 11~9名 D : 8~6名 E : 5名以下	D	京都大学 1名 大阪大学 1名 九州大学 3名 徳島大学医学部医学科1名 東京理科大学 1名 国際基督教大学 1名 令和4年3月11日現在	高い意識を持つ生徒に対して、個別指導を強化、充実して、学習指導やマネジメントに努める。
		就職内定率100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	A	就職内定率100%	インターンシップやキャリア教育の推進を図るとともに、検定に対応できる授業及び個別指導を引き続き行う。
		商業各種検定3種目合格者100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	E	9種目 0名 7種目 1名 6種目 4名 5種目 5名 4種目 10名 3種目 5名 計 25名 66%	現在行っている授業や課外での指導を工夫することで、合格者数の向上に努める。
課題研究	2 課題を発見し、科学的に考察する力を育成する	課題研究に積極的に取り組んでいる生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	B	生徒の自己評価で、90%の生徒が肯定的な評価になっている。	課題研究の内容の更なる向上に向けた指導やアドバイスをすることにより、生徒の意欲を高める。
		課題研究を通じて力がついたり感じる生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	C	生徒の自己評価で、88%の生徒が肯定的な評価になっている。	課題研究について、生徒の研究スキルが向上する指導方法の研究に努めるとともに、教員間で共有する体制を整える。
		課題研究 各種コンテスト応募数100以上 A : 100以上 B : 99~90 C : 89~80 D : 79~70 E : 69以下	A	自然科学系 74本 社会科学系 113本 計 187本	大学等と連携することで、教員の課題研究の指導スキルの向上に努めるとともに、生徒の課題研究の質の向上を図る。
		課題研究 各種コンテスト入賞数40以上 A : 40以上 B : 39~30 C : 29~20 D : 19~10 E : 9以下	B	自然科学系 25本 社会科学系 12本 計 37本 全国高等学校総合文化祭自然科学部門優秀賞(地学) 日本学生科学賞中央審査入選3等(化学) 他	大学等と連携することで、教員の課題研究の指導スキルの向上に努めるとともに、生徒の課題研究の質の向上を図る。

授業改善	2 課題を発見し、科学的に考察する力を育成する	授業を楽しんでいる生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	E	生徒の自己評価で、68%の生徒が肯定的な評価になっている。	ICTを活用した授業改善を進めるとともに、課題研究やアクティブラーニングのスキルを向上するための教員研修を行う。
読書		読書冊数 年間5冊以上の生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	D	1年生 78.8% 2年生 72.2% 3年生 69.9% 全体 73.6%	新書版を中心とした新規図書の購入を促進するとともに、進路につながる図書コーナー(葵文庫)を充実させる。ビブリオバトルなど図書委員会活動を充実する。
表現力	3 他者と協働し、新しい価値を創る力を育成する	コミュニケーション能力やプレゼン力が身に付いたと感じる生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下	C	生徒の自己評価で、83%の生徒が肯定的な評価になっている。	課題研究発表会やSSH事業を通じてプレゼン力や質疑応答力の向上を図る教育活動を展開する。
		課題研究発表および体験発表者数100名以上 A : 100名以上 B : 99~90名 C : 89~80名 D : 79~70名 E : 69名以下	A	感染症拡大防止のため、ステージの発表やポスター発表の機会が減少したが、リモートでの発表する機会が増加し、参加する生徒が増えた。	来年度は通常の活動ができることを願う。活動が可能になれば、小中学校対象の出前授業などを企画していきたい。
生徒によるイベント企画件数10件以上 A : 10件以上 B : 9~8件 C : 7~6件 D : 5~4件 E : 3件以下		A	10件 徹底した感染対策を講じながら、校外の活動を実施することができた。	地域と密着したイベントやSSH事業での科学イベントや小中学生対象の出前講座など、コロナ禍で活動が制限される中で工夫を凝らした活動を計画をする。	
地域に貢献する活動に積極的に取り組んでいる生徒100% A : 100% B : 99~90% C : 89~80% D : 79~70% E : 69%以下		E	生徒の自己評価で、61%の生徒が肯定的な評価になっている。	課題研究を通して、地域貢献する機会を更に増やすとともに、その実感を生徒に感じさせる工夫を行う。	
地域貢献	地域と連携したボランティア活動参加者数200名以上 A : 200名以上 B : 199~180名 C : 179~160名 D : 159~140名 E : 139名以下	E	地域と連携したボランティア活動参加者数117名(感染症拡大防止のため中止となったイベントがあった。)	感染症拡大防止のため活動を制限されたが、ボランティア活動に関心が高い生徒が多いため、積極的に情報提供をしていきたい。	
	県総体出場者数200名以上、 A : 200名以上 B : 199~180名 C : 179~160名 D : 159~140名 E : 139名以下 県高文祭出場者数100名以上 A : 100名以上 B : 99~90名 C : 89~80名 D : 79~70名 E : 69名以下	B A	県総体出場者数 195名  県高校文化祭出場者数 110名	コロナ禍で活動が制限される中でも、生徒のモチベーションを高め、充実した部活動に努めていきたい。また、全国大会への出場数を増やせるように指導力強化に努める。	
情報発信	4 学校の情報を積極的に発信する	学校ホームページを毎日1回以上、更新アクセス数1日3000以上 A : 3000以上 B : 2999~2800 C : 2799~2600 D : 2599~2400 E : 2399以下	B	4月1日から211回更新 アクセス数 1日平均約2895	毎週最低1回以上の更新を行うとともに、内容の工夫改善を行うことで、魅力あるホームページづくりに努める。
業務改善	5 職場環境の整備を行い、適切な勤務時間とする	職場環境を整備し、時間外勤務上限月45時間・年間360時間を目指し、時間外勤務時間が月80時間を超える教職員をゼロにする。	D	SSHの課題研究や進路指導のため、勤務時間が長い教職員が多い。	仕事の効率化を図ることにより、勤務時間の軽減に努める。

※ 評価は5段階 (A : 十分な成果があった B : かなりの成果があった C : 一応の成果があった D : あまり成果がなかった E : 成果がなかった) とする。